公共事業ニュース

東京支局 TEL.03(5425)2070
多摩支局 TEL.042(527)7291

基本計画作成など
プロポで支援業務
大田区／雪谷小校の改築

大田区は、雪谷小学校の改築事業で基本計画作成など支援業務を委託するため、公募型プロポーザルの手続きを11月にも開始する。

既存施設の規模は鉄筋コンクリート造4階建て延べ6196平方㍍。1969年の建設で老朽化に伴い改築する。施設整備に向けては、基本構想・基本計画などを委託するプロポーザルを3月に審査したが、不成立となっていた。

所在地は南雪谷3ノ9ノ23。敷地面積は8779平方㍍。

9月補正予算には基本計画作成など支援業務委託費として、2025年度までを期限とする債務負担行為限度額と合わせ、事業費2046万円を計上している。

港区
プロポ手続き開始
緑化促進など検討支援

港区は、二酸化炭素吸収・固定に向けた緑化促進など検討支援業務を委託するため、公募型プロポーザルの手続きを開始した。参加表明書・企画提案書の提出期限は11月12日で、書類審査やプレゼンテーションを経て、12月3日に審査結果を通知する。

今回の業務では、二酸化炭素の吸収や固定に向けた基礎調査を踏まえ、区民が取り入れやすい効果的な緑化や、開発事業の際の緑化、また新技術を活用した具体的な方法などについて検討する。この他、委員会の資料作成や運営支援、指針の作成支援などを行う。

履行期間は2025年12月26日。事業規模は596万2000円（税込み）。

文京区
バリアフリー基本構想など
支援事業者をプロポ

文京区は、2025年度に目標年次を迎える「バリアフリー基本構想」と「バリアフリー基本構想重点整備地区別計画」の改定を支援する事業者をプロポーザル方式で選定する。11月1日まで参加希望書の提出を受け付け、書類審査やプレゼンテーションなどを経て25年1月下旬にも結果を通知する。

契約期間は25年4月1日～27年3月16日まで。参加資格はISO27001かプライバシーマークを取得していることなど。

提案限度額（税込み）は25年度が2362万7000円で、26年度が1902万4000円。

主な業務内容として、25年度に現行基本構想の最終評価を実施する。その後、上位計画や区民の意見などを踏まえて移動円滑化に関する事項と重点整備地区別方針、生活関連施設、生活関連経路の見直しを行い、基本構想を改定する。

26年度には改定した基本構想に基づき、重点整備地区における公共交通機関や特定の建築物・道路・公園などの事業者、管理者らと連携しながら新たに特定事業をとりまとめ、地区別計画を改定する。

練馬区
基本計画
策定支援を委託
やくも公園拡張・全面改修へ

練馬区は、やくも公園の拡張・改修に向けた基本計画の策定支援業務を戸田芳樹風景計画（渋谷区）に委託した。今後は設計を2025～26年度の2年間で進め、27年度以降に工事着手する。

隣接している敷地を取得してやくも公園を拡張し、施設を全面的にリニューアルする。

既存の公園面積は約1500平方㍍で、1971年に開園した。住宅街に位置し、大型すべり台や砂場、トイレ、噴水などを備えている。

拡張する敷地の面積は約1400平方㍍。公園の東側に位置し、2022年度に区の土地開発公社から取得した。現状は更地。

同公園は土地に高低差があり、拡張予定地も隣接する道路よりも高い位置にある。設計の中で施設のバリアフリー化も含めた具体的な整備内容を決める他、既存地盤の活用方法も検討していく。

所在地は小竹町1ノ13ノ5。

中野区
次期基本計画策定作業に着手
11月からミーティングへ

中野区は、現行の基本計画を踏まえた施策の達成状況を振り返るとともに、次期基本計画の策定作業に着手する。期間は2026年度から5年間。SDGsへの対応といった社会・経済情勢の変化を反映した各種施策を盛り込み、区長を本部長とする会議を庁内に設置する。11月から市民と区長によるタウンミーティングを実施する方針だ。

次期基本計画は、区の基本構想で描く「10年後に目指すまちの姿」の実現に向け、区の取り組みの基本的な方向性を示す、市政全般にわたる総合的な計画としてそれぞれの個別計画の上位計画に位置付ける。財政運営の基本方針と財政フレームを示すとともに、計画の実効性を確保するため、施策の達成状況を測る指標と数値目標を設定する。タウンミーティングと同時に区民意見の募集も行い25年6月には骨子を取りまとめる。その後、26年2月にはパブリックコメントの手続きに入り、同年3月に計画を策定する。

大田区
移動円滑化方針見直し
促進地区追加指定など

大田区は、「大田区移動等円滑化促進方針」の見直しに向け、素案を公表した。促進地区の追加指定などを見込む。今後はパブリックコメントなどを経て、2025年3月にも方針を定める。

同方針は18年のバリアフリー法の改正を踏まえて20年3月に策定。鉄道駅などの旅客施設や、高齢者と障害者らが利用する施設が集積したエリアを「移動等円滑化促進地区」に指定し、面的・一体的なバリアフリー化を進めている。計画期間は20～29年度までの10年間。25年度が計画の中間年に当たるため、これまでの取り組みの調査や分析を評価した上で、区全体のバリアフリー化推進に向けて方針を見直す。道路での歩道設置や、路面の段差や勾配の改善などを課題に挙げる。

現行では、蒲田駅周辺、大森駅周辺、さぽーとぴあ周辺、池上駅周辺の4地区を移動等円滑化促進地区としていたが、新たに15地区を追加する。追加する周辺地区は、▽西馬込駅▽下丸子駅▽大岡山駅▽糀谷駅▽流通センター駅▽田園調布駅▽雪が谷大塚駅▽平和島駅▽大鳥居駅▽天空橋駅▽多摩川駅▽洗足池駅▽雑色駅▽穴守稲荷駅▽羽田空港第3ターミナル駅―。ソフト面での取り組みと合わせ、誰もが移動しやすく、利用しやすいまちの実現を目指す。

目黒区
自由が丘駅前広場
再開発へ実証実験

目黒区は、自由が丘駅の駅前広場を、周辺地区で計画している再開発事業で新たに創出するパブリックプレイスに見立てて、利活用に必要な役割を検証するための実証実験「ザ・キッズニック！」を実施する。子どもと親子が楽しめるピクニックをキーワードとした取り組みを行う。

パブリックプレイスとは、道路や駅前広場などの公共空間と、市街地再開発事業などによって整備される歩行者空間や広場のことを指す。

この実証実験は、区や活動団体、企業などが参画する自由が丘エリアプラットフォームが策定した「自由が丘未来ビジョン」の一環。

まちづくり目標の一つである「誰もが安全・快適に回遊できる歩行者空間の創出」の実現に向け、2022年度から駅前広場を対象として公共空間利活用の実証実験を実施してきた。

同地区では、再開発事業などにより今後多くのパブリックプレイスが創出されることから、その利活用を促進し、歩行者がふと足を止めるような取り組みを日常化していくことを検討している。

街なかでのピクニックをテーマに、東急線沿線の店舗によるキッチンカーやブックスタンドなどの出店、書道パフォーマンスをテーマとしたワークショップ、日韓伝統文化体験などを行う。

中目黒駅周辺でも実施

一方、中目黒駅周辺地区でもウオーカブルなまちづくりの推進に向けた道路利活用の可能性を検証する実証実験「めぐろ川道プロジェクト」を実施する。

通行者の積極的な交流を図るイベントを実施した際の印象や影響について把握し、目黒川沿い区道の「さまざまな人がつながり、交流・創造する場」としての可能性を検証する。

調査結果は目黒川沿いで課題になっている桜開花期間中のオーバーツーリズムの対策にも活用する見込みだ。

目黒川沿い区道は、「ナカメ未来ビジョン」においても重点的にウオーカブル施策を検討するエリアに位置付けられている。22年度にも道路利活用の実証実験を実施し、今回で2度目となる。

今回の実証実験では、車両を通行止めにすることで歩行者専用の空間を創出し、パン食い競争などのイベントを開催する。

江東区
潮見に子ども家庭支援センター
26～27年度に設計

江東区は、子ども家庭支援センターを潮見に整備する。2026～27年度に設計、28～29年度に工事を進め、30年度からの供用開始を目指す。

豊洲地区は子育て世代が多く、運河で区切られたエリアを橋梁を渡って移動するため、他地区と比べ子ども家庭支援センターへアクセスしづらいエリアとなっている。そのため、JR東日本京葉線潮見駅の東側に子ども家庭支援センターを整備し、子育て支援環境の充実を図る。児童相談所の併設も見込むが、詳細は今後決定する。

建設地は潮見2ノ8ノ8で、旧潮見第一自転車保管場所・旧建て替え支援用工場の跡地。面積は7446平方㍍。

旧ちどり幼稚園跡地
家庭支援センターに改修へ

江東区は、旧ちどり幼稚園を子ども家庭支援センターとして改修する。2025～27年度にかけて設計・工事を行い、28年度の完成を目指す。

旧ちどり幼稚園は少子化の影響で24年3月に閉園した。古石場児童館・福祉会館・職員寮が併設されている。その後も利活用法を検討したが、子ども家庭支援センターを整備する方針を決めた。

幼稚園は建物の1～2階部分を占有する。延べ床面積は960平方㍍。工事は内部の全面改修を行う予定だが、詳細は今後決定する。

所在地は古石場1ノ11ノ11。

明日の星④

1996年に昭島市で創業し、舗装工事を中心に土木業を展開する協立舗道。新卒採用に力を入れ、35歳以下の従業員が20人以上在籍する。今回は多摩工科高校機械科を卒業し、新卒入社して8年目の齋藤尽さん（26歳）、デュアルシステム科を卒業し、4月に新卒入社した中野渡陸さん（18歳）に会社を選んだきっかけや業務内容を聞いた。

協立舗道（昭島市）
入社8年目　齋藤（さいとう）尽（じん）さん（左）
新卒入社　中野渡（なかのわたり）陸（りく）さん

中野渡「雰囲気が良く長期休暇なども充実」

―協立舗道を選んだ理由は。

齋藤「高校は機械科だったので就職先は工場系のイメージが強かったが、給料面などで満足できず、進路指導の先生に進路について相談したところ、建設業を候補に挙げてくれた。その際、たまたま高校にあった協立舗道のパンフレットを見ると、中野渡「高校3年生の企業実習で出会った。それまでは工場系の企業に実習に行っていたが、工場系は体を動かすことが少なく、物足りなさを感じたため、体を動かす現場仕事に興味を持った。学校から勧められた企業実習の候補先に、土木系企業は協立舗道しかなかったので応募した。企業実習では同世代の人が多く、雰囲気も良くて楽しかった。また、土木は勤務地が現場ごとに違うことも楽しいと感じた他、給与の良さや入社後の寮生活にも興味が湧いた。長期休暇が年に3回程度あるので完全土日休みでなくてもいいかなと思った」

―現在の仕事内容は。

齋藤「機械科だったこともあり、最初は重機などを操縦するオペレーター志望で入社した。しかし、入社後は施工管理の仕事に携わっている。初めのうちは重機に乗りたい気持ちもあったが、施工管理はいろいろな会社の人と関わりを持つことができて楽しかったので不満はなくなった。今となれば最初から施工管理をしていて良かったと思う」

齋藤「同世代の多い恵まれた環境」

中野渡「4月は全て研修で、社内で名刺交換などのビジネスマナーや技術研修を受けた。その後、現場に同行し、施工管理の勉強や作業員の手伝いなどを行っている。最初の頃は社内・社外ともに人の顔と名前を覚えるのが難しかった」

―仕事を辞めようと思ったことは。

齋藤「ありがたいことに今まで一度も辞めたいと思ったことがない。仮に今の職場を辞めても同じ職種を続けていきたい。建設業は高齢化が進み、周りの企業を見ると若い人がとても少ない。当社には同世代の社員が20人程度在籍していて、これほど若い人が集まっている企業はなかなかないので、恵まれていると思っている。同世代が多く遊び仲間でもあるので、転職は一度もよぎったことはない。仕事の中でつらいこともあるが、辞めたいという考えにはつながっていない」

―仕事で大変なことは。

中野渡「この夏、初めて夜間の現場に同行した。自宅を出るのが、夕方5時、終業が深夜2時ごろ。日が出てない分、日中より涼しく、夜勤手当もあるので、想像していたよりもつらくなかったが、慣れない事ばかりなので気力が削られている」

―8年間で学んだことは。

齋藤「社員一人一人が利益を求めることで企業は存続しているということを体感し、ただ会社にいるだけでお金をもらえるわけじゃないということを学んだ。この意識をもって働いている」

―仕事で面白いと感じることは。

中野渡「教えてもらったことを実践できた時や、指示される前に現場で必要な道具を準備できた時などは自身の成長を感じる。土木に過酷なイメージを持っていたが、日中の暑さに対しては小まめな水分補給や、想像以上に涼しいファン付き作業着のおかげで快適に働けている」

（多摩支局＝鴨川雅）

東京都成績評定（工事・設計等委託）（総評定点60点以上）

発注者名	受注者名	総評定点	件名	工期	業種名	通知日
第四建設事務所	関東エンジニアリング	73点	補助第81号線ほか用地補足測量（単価契約）	2023年４月１日～24年３月31日	測量	2024年4月8日
	本田測量設計	69点	放射第35･36号線ほか用地補足測量（単価契約）	2023年４月１日～24年３月31日	測量	2024年4月8日
	三和航測	71点	補助第１５６号線ほか用地補足測量（単価契約）	2023年４月１日～24年３月31日	測量	2024年4月8日
	虹設計事務所	72点	図面作成業務（５四の１補修）単価契約	2023年４月１日～24年３月31日	土木設計	2024年4月10日
	大同情報技術	73点	補助第73号線ほか用地補足測量（単価契約）	2023年４月１日～24年３月31日	測量	2024年4月10日
	都市興業	69点	補助第82号線ほか用地補足測量（単価契約）	2023年４月１日～24年３月31日	測量	2024年4月10日
	関東エンジニアリング	70点	主要地方道第８号線用地補足測量（単価契約）	2024年１月12日～24年３月31日	測量	2024年4月11日
	日本測地設計	71点	補助第２３３号線ほか用地補足測量（単価契約）	2023年４月１日～24年３月31日	測量	2024年4月12日
	杉山造園建設	73点	街路樹等維持単価契約（５板橋）その２	2023年９月29日～24年３月31日	造園	2024年4月22日
	サンライズ開発	72点	街路樹等維持単価契約（５豊島）その２	2023年９月29日～24年３月31日	造園	2024年4月23日
	佐藤電気	72点	街灯維持単価契約（石－２）	2023年９月15日～24年３月31日	電気	2024年4月25日
	東京土木	72点	道路橋梁維持単価契約（練－２）	2023年10月13日～24年３月31日	一般土木	2024年5月8日

発注者名・件名は略している場合があります。（建通新聞社調べ）
※建通新聞電子版もご参照ください